

国際関係学部 国際メディア学科 専門教育分野 TLO: Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	主要科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
									多角的な視野からの幅広い知識と教養を身につけている	国際社会におけるメディアの役割を理解し、情報の受発信についての技術力と実践力及びコミュニケーション力を身につけている	国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立かつ協働して諸問題に取り組むことができる	メディアから発信される多様な情報をデータを取集・分析し、論理的かつ批判的な思考にもとづいて問題の解決に取り組むことができる	市民として社会に対して関心を持ち、グローバルな視点からメディアやコミュニケーションに関する知見や技能を活かして社会に貢献することができる	
必修	国際関係学入門	M-IRE101	100	講義	2	○	国際関係学の全体像を提示し、2年次以降の専門科目履修に際しての学修計画の指針を提供する。	諸国際問題について、基礎的な理解ができ、全体像を把握できるようになる。	◎					○
	基礎演習	M-SEM201	200	演習	2	○	国際問題に対する多様なアプローチを知ることで、国際関係という学びの分野の全体像を把握させる。	国際問題について基礎的な理解をする。次年度以降の専門学修を計画立案する指針を作る。	○	○	◎			
	専門演習	M-SEM301	300	演習	2	○	学部の専門分野から選択し、その研究に必要な基礎知識と実践方法を少人数クラスで徹底して学ぶ。	専門研究の必修スキルである読解・調査・発表・討論等の能力を身につけ、さらなる学修の準備をする。				◎		○
	卒業研究	M-SEM401	400	PBL	4	○	基礎演習での学修を踏まえ、さらに各専門分野についての知見と実践を深める。	高度な専門性を有する分野について、研究発表や論文執筆などの実践的な能力を身につける。				◎		
卒業演習・研究	メディア産業論	M-MED101	100	講義	2	○	グローバル・メディアを学ぶ入門科目として、情報通信、広報・広告、映像、コミュニケーション、観光、メディアと言語などを総括的に学び、今後の専門学修に役立てる。	グローバル・メディアを学ぶための様々なテーマや専門科目の概要を理解し、今後の専門科目・演習の履修選択や卒業後の進路について指針を得ることができる。	◎	○				
	コミュニケーション理論	M-MED205	200	講義	2	○	マスメディア・コミュニケーション分野における基礎的な理論研究の概観と歴史の流れを中心に論じ、昨今のSNS事情等も含めてメディアを巡る社会問題の背景とその構造を提示する。	メディア分野の理論研究の基礎的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。必要に応じて教科書や参考文献等の専門書を参照、内容を理解できる。	○			◎		○
	スポーツジャーナリズム	M-HES233	200	講義	2		「スポーツとは何か」を求め、スポーツの舞台の表と裏の裏情をその課題とともに探る。	スポーツが置かれている国内外の現状を理解し、それらの課題とともに社会に如何に伝えるかについての理論や実践を身につける。	○			◎		○
	メディア・コミュニケーション概論	M-MED206	200	講義	4	○	メディア関連科目の概論として、メディア／ジャーナリズムの歴史、産業、理論等を幅広く論じ、その他のメディア関連科目とさらに深く学ぶことを容易にする為の基礎的な知識を提示する。	メディア関連分野の基本的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。その他のメディア関連科目の位置づけを理解し、さらに学習を深められるようになる。	◎					○
	メディア史	M-MED208	200	講義	4		我が国のメディア史を中心に、ジャーナリズムのみならず、映画や出版等も含めた大衆文化、さらにはインターネット等の情報通信分野に至るまでメディア分野の歴史を幅広く提示する。	メディアの発展過程に関する基本的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。日常生活で利用しているメディアや関連サービスの背景を理解できる。	○					◎
	情報政策論	M-MED209	200	講義	4	○	情報政策を巡る歴史や産業動向等を含めて多角的な視点から論じること、昨今、国際問題としても注目される情報通信産業を巡る課題とその社会的背景を提示する。	情報政策分野の概観と関連研究に関する基本的な内容を理解できる。自身の研究テーマや関心分野との関係性を理解できる。日常生活で利用している情報通信サービスの背景を理解できる。	○					◎
	メディアの社会学	M-MED218	200	講義	2		人々の情報源は長きに渡って新聞、ラジオ、テレビが主流であったが、SNSの出現により勢力圏は激変する事になり、しかし新聞、ラジオ、テレビの巻き返しは充分予想され、SNSが今後もメディアの主流になるかは予断を許さない。今必要なのは多様化するマスメディアを教養人材である。ではその教養人材には何がスペックとして必要なのか、学生達に興味を持ってもらい企画発想の潜在的な能力を引き出したい。	本授業ではテレビ番組の制作やテレビ・ラジオなどのマスコミ出演から得たリアリティな体験を伝えることで、受講者のマスコミへの関心や理解を高め、社会で活躍する人材の育成を目標とする。具体的到達目標は以下の通り。	○					○
	メディア倫理・法制	M-MED210	200	講義	4	○	立憲民主主義国家を形成維持していくために必要な「政府に対する監視機能」「国民への情報提供機能」としてのマスメディアのありかたについて理解する。	社会情報の信頼性について自ら判断し、また近年盛んな「政府との関わり」なども含めて、マスコミや煽動的情報に惑わされないメディアリテラシーを身につけることができる。	○					◎
	情報セキュリティと法	M-LAW205	200	講義	4	○	本講義では、情報を守るための基本的な考え方、情報漏洩・サイバー攻撃の身近な事例を取り上げながら、個人情報保護法、やサイバー犯罪に関する法律をわかりやすく解説する。それにより、メディアを学ぶ学生として「情報を安全に扱い、責任をもって発信する力」を身につけることを目的とする。	本講義では、情報セキュリティが現代メディア社会において果たす役割を理解し、個人情報やデータを安全に取り扱うための基本的な考え方を身につけるとともに、情報漏洩・サイバー攻撃などの身近な事例を通して関連する法制度の意義を理解し、メディアに関わる者として情報を守り責任をもって発信する姿勢を養い、国際的な情報環境における課題について主体的に考える基礎的な力を身につけることを到達目標とする。		○		◎		○
	出版論	M-MED211	200	講義	4	○	現場で働く編集者の仕事をケーススタディで学ぶと同時に、出版文化や出版の歴史について理解する。	編集の仕事、情報収集や人脈づくりのケーススタディ、企画立案・取材、記事、原稿執筆の修得。			◎			○
	写真演習	M-MED212	200	講義	4	○	的確に写真に収める写真技術や表現力を身につけ、将来仕事として写真に関わっていく人にとって、実践的な撮影テクニックと様々な表現技法の実習により習得する。	撮影技術・表現技法の習得し、デジタル写真を基礎技術として習得し、自分の仕事やパフォーマンスで即戦力につながるディレクション力を習得するとともに各自のオリジナリティに溢れたレポートやアート作品の制作を目指す。			◎			○
	取材・ライティング演習	M-MED213	200	講義	4	○	「自分」しか書けないことを、誰にでもわかる文章で書く力を身につける。	第一に、わかりやすい文章を書くための技術を習得し実践できる。第二に、読者を喚起する原稿をつくるうえで必要な取材の方法を会得し実践できる。第三に、第一、第二の知識・技術を駆使してコラムやエッセイ、対談・インタビュー記事などさまざまなスタイルの原稿をつくることである。	○					◎
	広告演習 I	M-MED204	200	演習	4		広告がどんな背景・狙いで作られているのかを理解し最新事例を取り上げつつ具体的に広告制作を行う。	広告の役割・狙いを理解し、様々な角度から物事を考え、発想力、表現力を養いアイデアを企画書にまとめられるようにする。また、協働して課題を解決する力を養う。	○	◎				
	映像制作 I	M-MED202	200	実習	4		映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。映像表現にどのような可能性があるかを学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	映像の取材・カメラ撮影・映像編集で学んだ映像表現の技術を生かし、グループで協力しながら、スタジオで収録する番組を企画制作、ネット配信することを到達目標とする。			◎			○
	映像制作・取材	M-MED203	200	実習	4	○	映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。特に映像の撮影に関する知識・技術を学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	HDビデオカメラ(SONY HXR-NX70J)を使用して撮影に関する基本的な知識・操作を取得し、最終的に個人で取材・インタビュー・ビデオ撮影し提出することを到達目標とする。	○	◎				○
	ナレーション演習	M-MED214	200	演習	4	○	スタジオシステムの活用(録音機、視聴機、講師の講師の講師)を受ける。このことにより、自身の表現力などを冷静に分析し、自己のコミュニケーション能力改善に活かす。アナウンスメントの現場に携わる講師の経験を得る。「話す、読む、聴く」の力を高める。さまざまなジャンルの作品に触れることで語彙を増やし、思考力・判断力を高める。	自身の考えを論理的に分かりやすく伝えられるようになる。「豊かな日本語」「正しい敬語」を駆使し、他者と適切なコミュニケーションをとれるようになる。「他者に元気を感動を与える」「他者に感謝を伝える」「他者を励ます」とことのできる表現者になる。	○	◎				○

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	主要 科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー						
							授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
									多角的な視野からの幅広い知識と教養を身につけている	国際社会に発信される多様な情報やデータを収集・分析し、情報発信力と実践力及びコミュニケーション力をつけている	国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立かつ協働して諸問題に取り組みることができる	メディアから発信される多様な情報やデータを収集・分析し、論理的かつ批判的な思考にもとづいて問題の解決に取り組むことができる	市民として社会に対して関心をもち、グローバルな視点からメディアやコミュニケーションに関する知識や技能を活かして社会に貢献することができる		
	広告メディア論	M-MED306	300	講義	4	○	多様な国際メディアを支える広告ビジネス・仕事の基礎的理解と実践知を学ぶ。(1)広告の送り手の理解。(2)有料メディア(サブスク他)と広告メディアの理解。	(1)国際ビジネスにおける広告の実践知の修得。(2)デジタル時代のマーケティング・コミュニケーションの実践知の修得。(3)広告に関するメディア・リテラシーの修得。			◎	○			
	パブリックリレーションズ	M-MED319	300	講義	4	○	パブリックリレーションズ(=PR・広報・公共関係)の観点から、国際社会における「双方向対称性コミュニケーション」のあり方、その実践・実務の理解を深める。	(1)政府・行政・企業・NPO・NGO等のPR業務の修得。(2)記者会見、取材対応などのPR手段・手法の修得。(3)自治体広報、観光PR、リクルート広報の実践知の修得。			◎	○			
	ソーシャルメディア・コミュニケーション	M-MED316	300	講義	4	○	近年、その社会的な影響力が注目を集めているソーシャルメディアを巡る歴史、市場、事業戦略、社会問題、法制度等を含めた多角的な視点から論じ、その背景と社会との関係性を提示する。	ソーシャルメディアの背景を理解できる。ソーシャルメディアと社会を巡る問題について理解できる。日常生活で利用しているソーシャルメディアのリスクと課題を理解できる。	○			◎	○		
	雑誌編集	M-MED308	300	演習	4	○	雑誌編集に必要な素養を身につける。	第一に、総合雑誌の歴史をたどり、日本近代史において果たした重要な役割を探る。雑誌に限らず、メディアは、時代の流れにより変容することを把握する。第二に、雑誌編集実務の技術を習得する。第三に、雑誌を含むメディアの将来像を具体的に描く。	○	◎				○	
	広告演習Ⅱ	M-MED305	300	演習	4		広告の背景・狙いを理解し、発想力・表現力を養う。最新事例を取り上げつつ、具体的に広告制作を行う。	広告の背景・狙いを理解し、具体的な調査などから洞察力を養う。また広告制作の作業を通じて発想力・表現力を磨き、協調して課題を解決する力をつける。	○	◎	○				
	映像制作Ⅱ	M-MED302	300	実習	4		映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。映像表現にどのような可能性があるかを学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	映像の取材・カメラ撮影・映像編集で学んだ映像表現の技術を生かし、グループで協力しながら、プロレベルに通じるビデオ作品企画制作し、最終的に一般公開することを到達目標とする。		◎			○	○	
	映像制作・編集	M-MED301	300	実習	4	○	映像メディアに関する知識を深め社会的な関心を持つ。特に映像の編集に関する知識・技術を学ぶ。グループ作業や学外取材によって自主性や規律・チームワークを学ぶことも目的とする。	PC(Macintosh)を使用した写真・イラスト・動画編集ソフトウェアの基本操作を取得し、最終的に個人でイラスト・短編動画を完成させ提出することを到達目標とする。	○	◎				○	
	先端メディア・テクノロジー特論	M-MED315	300	講義	4	○	人間のコミュニケーション手段(デバイスやテクノロジー)について、過去・現在(発達史・最新データ等)を踏まえ、近未来への構想力・対応力を学ぶ。	(1)デジタルツールやメディア技術の最新動向の修得。(2)GAFAM(Google・Apple・Facebook・Amazon・Microsoft)や任天堂・ソニー他、の事業・経営の戦略を修得。			◎	○			
	コミュニケーション調査法	M-MED307	300	講義	4		コミュニケーションの流れや過程や形態や表現や結果をみつめ、そこでわかったことを人に伝えるための社会調査の技法を学ぶ。	調査の前提や考え方、基本ルールの理解、調査設計からデータの収集、分析、仮説の検証、考察などについて理解する。		○	○		◎		
	◎ ツーリズム	観光メディア論	M-TRS205	200	講義	4	○	生まれ育った日常生活・言語・文化圏などを離れ、行ってみたい観光目的地・観光行動が生まれてくる仕組みについて、観光メディア論の観点から理解を深める。	(1)観光行動・手段等の最新動向を知る。(2)旅行会社・宿泊業・航空会社などのデジタル化動向の修得。(3)地域ブランド、コンテンツ・ツーリズム等の実践知の修得。			◎			
観光ビジネス論		M-TRS203	200	講義	2	○	観光産業を構成するそれぞれの産業分野が、移動、宿泊、食事等の基本的なサービス提供だけではなく、現地(到着地)の観光資源や関係する多くの主体との複合的な関わりやそれぞれの役割について理解する。	観光に関する最新の動向や基本的なツールズについて理解するとともにフォーケーションなどの新しいツールズや観光資源、受入環境(関係する多様な主体)の役割等について理解することが出来る。	◎			○	○		
観光マーケティング論		M-TRS204	200	講義	2	○	観光マーケティングやマーケットトレンドへの理解を深めるとともに、観光分野での事例を用いながらマーケティング理論の基本や、実際のマーケティング活動のポイントについて理解する。	観光産業を素材にマーケティングの基本を学び、観光産業以外のビジネスの現場においても必要なマーケティングの基本的な考え方やフレームワークを身につけることができる。また、観光産業のマーケティング戦略やトレンドを知り、業界についての理解が深まる。	◎				○	○	
観光実務研修Ⅰ		M-ISP201	200	実習	2		旅行会社や関連企業の業務についての基礎的知識の習得と体験を通じて、観光が、誰に対して、どんな価値を、どのように提供しているのかを、実務研修(インターンシップ)の場において理解する。	旅行会社や関連企業のマーケティングや事業の仕組、考え方等を理解する・体感するなかで観光客(需要側)目線、旅行会社(供給側)目線の違いについての気づきも理解出来るようになる。併せて、自身の適正を知り将来のキャリアパスへのヒントを得られるようになる。			○	◎			○
観光先進地研修Ⅰ		M-ISP202	200	実習	2		観光先進地等における現場実習を通じて、地域の観光資源について様々な角度から学び、また、観光客を受け入れる地域は、誰に対して、どんな価値を、どのように提供しているのか、等について理解を深める。	国内の先進地域や観光関連企業が、どのような活動を通じて観光地としての魅力発揮や魅力創造・発信等の活動を行っているのか、その活動内容や仕組、考え方等を理解することで、観光客(需要側)目線、地域の観光主体や関連組織等(供給側)目線の違いについての気づきを体感出来るようになる。併せて、自身の適正を知り将来のキャリアパスへのヒントを得られるようになる。			○	◎			○
国際観光英語演習		M-TRS308	300	演習	2		海外および国内の観光に関わる英語表現を学ぶとともに、英語そのものの4技能の向上を図り、また観光プレゼンテーションを通してコミュニケーション力(発表力、聴解力等)の向上を目指す。	観光に関する基本的なことから英語で理解したり表現したりすることができ、また、簡単な観光プランの提示や観光案内ができる。	○			○			◎
観光魅力創造論		M-TRS307	300	講義	2	○	観光はまちづくりの魅力を創造することであるという基本認識から、観光を学ぶための基礎的なアプローチの仕方、地域を見る力、考える力、計画する力について学び、各地域における観光資源、観光地としての魅力の発揮・魅力創造と、それらに必要なマーケティング、ブランディング、プロモーション等についても事例をまじえながら理解を進める。	観光を通じたまちづくりに必要な観光資源について事例を通じて基礎が判る・町並み保存から世界遺産・産業遺産について事例を通じて現代や基礎的な知識が判る・新たな日常、ニューツーリズム、ジェンダー、ワーケーション等についても意味や効果が判るようになる・after コロナの新しい日常、持続可能な観光がわかるようになる。	◎			○			○
観光マネジメント論		M-TRS306	300	講義	2	○	「destination management」という概念のもと、観光に関わるさまざまな主体がどのように観光地を持続的にマネジメントしているかを理論だけでなく、具体的なケース・スタディ等を見ながら理解を深める。	観光についての多角的な視点を養うとともに、実際の事例を通じて、地域外の人に響く地域の発信や、増加が著しい訪日外国人対応、世界的課題であるサステナビリティへの向き合い方、などがわかるようになる。	◎					○	○
MICE産業論		M-TRS302	300	講義	2	○	MICEおよびIR(統合型リゾート)のビジネス・産業構造や事業プロセス、さらに両者の関連性について理解する。	MICE産業の基本的な構造や地域における役割、レジャーラベルとビジネスラベルの違いなどについて理解できる。		◎				○	○

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバ	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	主要科目	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
									多角的な視野からの幅広い知識と教養を身につけている	国際社会におけるメディアの役割を理解し、情報の発信に備えている	国際社会の多様な価値観や文化を理解し、自立かつ協働して諸問題に取り組むことができる	メディアから発信される多様な情報やデータを収集・分析し、論理的で多角的かつ批判的な思考にもとづいて問題の解決に取り組むことができる	市民として社会に対して関心を持ち、グローバルな視点からメディアやコミュニケーションに関する知見や技能を活かして社会に貢献することができる	
③ コミュニケーション	観光コミュニケーション論	M-TRS304	300	講義	2	○	サービスマーケティングの基礎理解から、社会人として必要となるコミュニケーションスキル、観光産業で必要となるホスピタリティを学ぶとともに、観光産業でのキャリアパス、文化や習慣などの多様性やニューツーリズム等について学ぶ。	観光とコミュニケーションについて基礎を身につける。観光や旅行について自分の企画、意見、感想を具体的に相手に伝える。情報の発信と受信をサービス内容に応じた方法等を選択し提案する。広報(PR)と広告(AD)の違いと観光におけるプロモーション等が判る・異文化や多文化の基礎的理解を通じて、訪日外国人対応の提案ができる。COVID19の発生による with/after コロナの各主体の対応がわかる、などのことができる。		◎	○	○		
	観光実務研修Ⅱ	M-ISP302	300	実習	2		旅行会社や関連企業の業務についての基礎的知識の習得と体験を通じて、観光が、誰に対して、どんな価値を、どのように提供しているのかを、実務研修(インターンシップ)の場において理解する。	旅行会社や関連企業のマーケティングや事業の仕組み、考え方を理解する・体感するなかで観光客(需要側)目線、旅行会社(供給側)目線の違いについての気づきも理解出来るようになる。併せて、自身の適正を知り将来のキャリアパスへのヒントを得られるようになる。		○	◎		○	
	観光先進地研修Ⅱ	M-ISP303	300	実習	2		観光先進地等における現場実習を通じて、地域の観光資源について様々な角度から学び、また、観光客を受け入れる地域は、誰に対して、どんな価値を、どのように提供しているのか、等について理解を深める。	国内の先進地域や観光関連企業が、どのような活動を通じて観光地としての魅力発掘や魅力創造・発信等の活動を行っているのか、その活動内容や仕組み、考え方を理解することで、観光客(需要側)目線、地域の観光主体や関連組織等(供給側)目線の違いについての気づきを体感出来るようになる。併せて、自身の適正を知り将来のキャリアパスへのヒントを得られるようになる。		○	◎		○	
	観光実務研修Ⅲ	M-ISP401	400	実習	2		旅行会社や関連企業の業務についての基礎的知識の習得と体験を通じて、観光が、誰に対して、どんな価値を、どのように提供しているのかを、実務研修(インターンシップ)の場において理解する。	旅行会社や関連企業のマーケティングや事業の仕組み、考え方を理解する・体感するなかで観光客(需要側)目線、旅行会社(供給側)目線の違いについての気づきも理解出来るようになる。併せて、自身の適正を知り将来のキャリアパスへのヒントを得られるようになる。		○	◎		○	
	観光先進地研修Ⅲ	M-ISP402	400	実習	2		観光先進地等における現場実習を通じて、地域の観光資源について様々な角度から学び、また、観光客を受け入れる地域は、誰に対して、どんな価値を、どのように提供しているのか、等について理解を深める。	国内の先進地域や観光関連企業が、どのような活動を通じて観光地としての魅力発掘や魅力創造・発信等の活動を行っているのか、その活動内容や仕組み、考え方を理解することで、観光客(需要側)目線、地域の観光主体や関連組織等(供給側)目線の違いについての気づきを体感出来るようになる。併せて、自身の適正を知り将来のキャリアパスへのヒントを得られるようになる。		○	◎		○	
	Study-Abroad Workshop	M-ARS201	200	演習	4		英語圏の主に大学等に留学する際に必要とされる学修スキル、およびコミュニケーション力を身につけるための基礎学習と演習・実習を行う。	英語圏の大学等における英語でのプレゼンテーション、およびレポート・論文作成に必要な基礎的な言語力、発声力、構成力、ならびに形式(様式)に関する知識を身につける。	○	◎		○		
	English in the Media	M-MED201	200	講義	4	○	To explore various types of English in the media and learn how to effectively use them to enhance their English learning.	To understand the features of various types of English in the media and be able to effectively use them to enhance their English learning.	○	◎		○		
	メディアリテラシー入門	M-INF208	200	講義	4	○	日本文化を背負った日本語を他の外国語(主に英語)との比較を通して考察し、説明できる能力を養い「文字を読み解く能力」と「メディアを読み解く能力」について理解する。	言語とメディアとの関係から日々送受信される日本語を外国語との比較を通して考察し、母語が外国語を学ぶ意義を知り、コミュニケーションを生み出す思考力・判断力を養う。		○	○	◎		
	メディアとことば	M-MED215	200	講義	4	○	私達とメディアとの関係を知りメディアの中の日本語の特長とユークスを発見し、メディア制作を通してメディアの社会的文化的経済的影響力を理解する知識と技術を養う。	メディアを通して配信されるメッセージを批判的に読み解き分析して社会への関心を高め、自身の考えを責任をもって発信し、主体的に社会参加しようとする意欲と態度を養う。			○	◎		
	異文化コミュニケーション論	M-SOC202	200	講義	4	○	異なる文化を背景に持つ者同士のコミュニケーションに關する諸問題について、基礎的な事柄を考察し、理解を深めるとともに、自ら考えて対処する力を養う。	異文化、コミュニケーション、ならびに異文化を背景に持つ者同士のコミュニケーションに關する諸問題の基礎を理解して、自ら考えて対処する基礎力を身につける。			◎	○	○	
	現代日本事情	M-SOC208	200	講義	4		現代日本を知るための方法と手続を問い直すことから始め、(A)日本の豊かさ(質)と(B)日本と性差の問題」を二つの柱として多様なアプローチから考察と議論をおこない、議論を通じて各自の現代日本観を更新する。	現代日本について、どんなデータが示され、何が主張されてきたか、その背後に何が隠れているかを通じて、複眼的で奥深い思考と公平で客観的な判断の能力を養う。	○		◎		○	
	英語通訳法入門	M-ENG201	200	演習	4		ニュース英語の音声を使い、逐次通訳練習を重ねることで、英日・日英の通訳スキル習得を目指す。	逐次通訳の練習を通して幅広い英語語彙を習得し、リスニングとスピーキング力を向上させる。	○		◎		○	
Current Issues A	M-SOC214	200	講義	4		To discuss current issues and topics selected by students to improve their English while deepening their knowledge of domestic and global issues.	To develop the ability to read and discuss current issues and topics in English and broaden their knowledge of domestic and global issues.	○	◎		○			
Current Issues B	M-SOC215	200	講義	4		To further discuss current issues selected by students to improve their English while deepening their knowledge of domestic and global issues.	To further improve the ability to read and discuss current issues in English and broaden their knowledge of domestic and global issues.	○	◎		○			
社会言語学	M-LNG318	300	講義	4	○	社会言語学の基礎を学ぶとともに具体例をもとに理解を深め、さらに次学内および大学近辺でのフィールドワークを行うことにより研究の実地体験を得ると同時にデータから結論を導く過程を体験する。	これまでに集られてきた社会言語学の理論と研究成果を理解することを目指す。また、授業を通して各自の興味のあるトピックを見出し、自由に調査を行って研究成果を教室で発表することを目指す。	◎			○			
第二言語習得論	M-LNG315	300	講義	4	○	第二言語習得研究の主要テーマと概念を学ぶ。特に、第二言語習得における普遍的要因と学習者要因の観点から、外国語学習のあり方や教授法の変遷を考察する。	第二言語習得研究の主要テーマと概念を理解できる。また、授業で得た知識と洞察を生かし、自身の英語などの外国語学習の考察に役立てることができる。	◎	○			○		
世界の言語政策	M-LNG312	300	講義	4	○	単言語主義国家である日本と、多言語主義国家であるアメリカ、オーストラリア、連合王国(UK)などの言語政策を比較し、「多言語多文化主義」について理解する。	近代国家における国民形成と言語の関係や、現代国際社会における言語問題、母語を使うことの意味や第二言語を学ぶことの意味について理解を深めることができる。	○		◎		○		
英語通訳法	M-ENG301	300	演習	4		TEDカンファレンスのプレゼン・スピーチを使い、逐次通訳スキル習得を目指す。	逐次通訳のスキル習得を通して幅広い語彙を構築し、内容理解力と日本語/英語の発話力を向上させる。	○		◎		○		

授業科目区分	授業科目名	科目コード ナンバー	ナンバ リング	科目種別 講義 演習 実習 PBL など	単位	主要科目	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. ディプロマポリシー					
							授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとすか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
									多角的な視野からの幅広い知識と教養を身につけている	国際社会におけるメディアの役割を理解し、情報の受発信についての技術力と実践力及びコミュニケーション力を身につけている	国際社会における多様な価値観や文化を理解し、自立かつ協働して諸問題に取り組むことができる	メディアから発信される多様な情報やデータを収集・分析し、論理的で多角的かつ批判的な思考により問題の解決に取り組むことができる	市民として社会に対して関心を持ち、グローバルな視点からメディアやコミュニケーションに関する知見や技能を活かして社会に貢献することができる	
	Intercultural Communication	M-SOC310	300	講義	4	○	異なる文化的背景を持つ者同士のコミュニケーションによって生じる諸問題を取り上げて、問題の捉え方や考え方などを提供し、学生自身に考察や意見交換を行ってもらいながら、理解と思考力を深めてもらう。	異文化コミュニケーションの基礎概念と理論を理解し、異文化コミュニケーションの諸場面で生じる諸問題に自ら気づき、自ら考えて効果的に対処することができる。	○		◎			○
	Media Studies	M-MED322	300	講義	4	○	メディアの本質を深く理解するために、英語・日本語の記事や番組について内容の違い、背景を議論し考察する。	メディアは主観的であること、政治や社会により内容に偏りがあることを理解し、的確な受発信ができるようになる。			◎		○	○
学科間共通専門分野 ブ(1)特 格別 ラ教 育	国際教育プログラムⅠ	M-ISP101	100	実習	2		インターンシップ、ボランティア、海外フィールドワーク、メディア活動などを課外授業として実践する。	様々な現場において学生が主体的に関与行動できるようなノウハウを身につけ、実践によって成果を得る。			○	○		◎
	国際教育プログラムⅡ	M-ISP102	100	実習	2		インターンシップ、ボランティア、海外フィールドワーク、メディア活動などを課外授業として実践する。	様々な現場において学生が主体的に関与行動できるようなノウハウを身につけ、実践によって成果を得る。			○	○		◎
	国際教育プログラムⅢ	M-ISP103	100	実習	2		インターンシップ、ボランティア、海外フィールドワーク、メディア活動などを課外授業として実践する。	様々な現場において学生が主体的に関与行動できるようなノウハウを身につけ、実践によって成果を得る。			○	○		◎
	国際関係学特殊講義A	M-IRE216	200	講義	2		流動的な国際関係の動きに応じて、現代的なテーマを設定して講義を行う。	現代的な国際関係の諸問題を客観的に分析し、国際関係のいまを精確に理解すること。				○	◎	○
	国際関係学特殊講義B	M-IRE217	200	講義	4		流動的な国際関係の動きに応じて、現代的なテーマを設定して講義を行う。	現代的な国際関係の諸問題を客観的に分析し、国際関係のいまを精確に理解すること。				○	◎	○